

ついでに図書館へ

お気軽にご利用下さい
だれでも、自由に、無料です

昭和五十四年九月、南国市立図書館が開館して五年。蔵書冊数も徐々に増えて開館当時の七千冊が現在二万冊を超えました。しかし、図書館の所在地や開館時間の問い合わせがまだまだ多く、PRの必要を痛感しています。買い物ついでに図書館へ、お気軽にご利用ください。

利用のしかた

はじめて本を借りるとき

- 受付の登録カードに、住所、氏名を記入してください。
- 一人四枚の貸出券をお渡しします。貸出券一枚で一冊、一人四冊借りられます。

借りたい本が決まったら

- 借りたい本と貸出券を受付に持ってきてください。
- 二週間借りられます。

本を返すとき

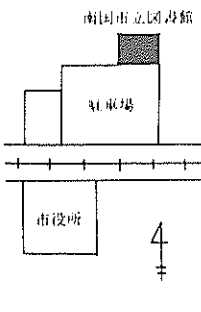
- 返す本を必ず受付のカウンターに持ってきてください。
- 図書館が閉まっているときは、

本の予約ができます

- 読みたい本が貸し出し中で図書館にないときは、予約ができます。
- また、図書館で購入してほしいリクエストの制度もあります。リクエストにはできる限りおこなえるようにしていますが、購入できないときもありますのでご了承ください。

調べたいことがあるとき

- 予約・リクエストの本が貸し出しできるようにしたい、お知らせします。
- 図書館では辞典、年鑑などの参考図書をそろえています。



●わからないときは受付カウンターの方に気軽にお尋ねください。

●当館でできる調査と県立図書館などへの照会を含め、お手伝いします。

開館時間

- 九時～十七時（火・土曜日）
- 九時～十二時（月曜日）

休館日

- 日曜日、祝祭日
- 月曜日の午後（月曜日が祝祭日と重なるときは、翌日火曜日の午後が休館）
- 館内整理日（毎月末日。祝祭日と重なるときは、前日が休館）
- 年末年始（十二月二十八日～一月三日）
- 特別整理期間（十月中に十日以内）



オール読物、主婦の友
囲碁クラブなどの雑誌
一号おくれで貸し出します

購入雑誌

- 大陽・芸術新潮・日本カメラ・歴史読本・文芸春秋・オール読物・群像・小説現代・主婦の友・婦人画報・ドレスメーカーキング・ベビーエイジ・暮らしの手帖・美しい部屋・社快・関西のつり・栄養と料理・旅の手帖・部落解放・週刊朝日・週刊新潮・サンデー毎日・趣味の園芸・囲碁クラブ・将棋マガジン・解放の道・ロードショー

新聞

- 毎日新聞・朝日新聞・高知新聞
- 日経新聞・読売新聞・デイリースポーツ・週刊読書人・赤旗（奇聞）

買い物



こんなに利用されています

貸出冊数五万冊、利用者二万四千人

昨年度の図書増加冊数は、二〇、〇二二冊（購入一、五二五冊、寄贈六一五冊）で蔵書冊数は二〇、一九一冊になりました。また、図書館を利用した人は、二四、〇三二人で、前年度に比べて一、八五〇人の増となっています。貸出冊数は、五二、二七二冊で前年度比七、九二六冊の増と大きく伸びており、市民一人が一冊の

図書館へ来られない人のために

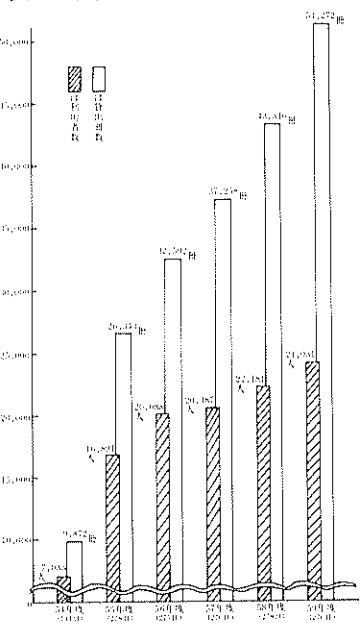
「利用下さい」「団体貸し出し」制度

図書館では昨年「団体貸し出し」制度を始めました。「団体貸し出し」は、仕事などで時間的、距離的に図書館を利用できない人のために、会社や寮、婦人会、町内会、地域のグループ、労働組合などの団体に数十冊の図書をまとめて貸し出し、利用していただく制度です。

〈団体貸し出しの利点は…〉

- 図書館へ来なくても本が読めます。
- 団体貸し出しを受けると、あなたの仲間の一人が図書館へ来

表I 年度別利用状況



図書を利用したことになります。よく読まれている本はやはり文学が圧倒的に多く、一般・学生では七〇%を占め、ついで社会科学（六%）、自然科学（五%）、歴史、

詳しいことのお問い合わせは、図書館（☎2111 内線145）まで。

紙芝居もご利用下さい

「しらゆきひめ」「かちかち山」「ふるやのもり」など二八五セットの紙芝居があります。夕食後のひととき、就寝前の十分間、子供さんと楽しんで下さい。

